

令和3年度 第1回美祢市廃棄物減量等推進審議会 会議結果

日 時：令和3年10月20日（水）9時28分～11時5分

場 所：美祢市保健センター（1階健康増進室）

出席者：廃棄物減量等審議会委員（今井会長ほか委員9名）

事務局（志賀市民福祉部長、古屋生活環境課長ほか4名）

合計16名

要旨（概略）

1 開会

古屋生活環境課長により開会（9：28）

2 あいさつ

今井会長よりあいさつ

3 事務局職員自己紹介

4 議事

◆付議事項

（1）美祢市の廃棄物処理の統一の検証について

事務局より資料に基づき説明

【質問】

市民からの意見で、秋芳地域からの意見が少ないが理由はあるのか。

【事務局の回答】

市民からの意見は、各総合支所・出張所を通じて調査を行ったが、秋芳地域からの意見は少なかった。統一に関する秋芳地域への周知は上手くいったものと考えている。

【質問】

美東地域では、金属類の出し方がコンテナから指定袋に変わったため、ごみ出しの時に手間になるとともに、受け入れ先のシーパーツではごみを指定袋から出さないといけなくなったため手間が増えたという意見があった。コンテナには戻せないのか。

【事務局の回答】

統一案の策定の際に議論になったが、収集運搬処理手数料の負担の公平性の観点から指定袋に統一したので、コンテナ方式に戻すことは困難であると考えている。

【意見】

費用負担の公平性を考えて指定袋に統一とした。統一して一年目であり、すぐに変えるのは難しいと思うが、絶対に変えられないということでもない。他

に良い方法がないか審議会で審議する余地を残しておくべきである。

【質問】

美東地域の汚れた服については、ふとん・革類の日に出すこととなっているが、出し方ガイドの4ページにボタンやファスナーは取り外さないといけないことを明記した方が良いのではないか。

【事務局の回答】

3年後にガイドを改訂する際に、明記することにした。

【意見】

追記する部分をシールにして市民に配布するという方法もある。

【質問】

汚れた服とはどの程度の事を言うのか。

【事務局の回答】

汚れた服の程度については、受け入れ先の山口資源に確認し、次回の審議会で説明する。(確認の結果、古着で売れる程度の物とのこと。)

【質問】

汚れた衣類を収集してもらうために収集日の順番を決めるということであるが、理由をもう一度説明してほしい。

【事務局の回答】

衣類・毛布類の収集日に汚れた衣類が出されて収集してもらえない場合がある。翌週をふとん・革類の収集日にすれば出し直して収集してもらうことができるため、来年度から順番を固定することにした。

【質問】

びんや缶の分別が悪い場合は収集してもらえないが、部外者から分別の悪いごみが集積所に出されて困っている。

【事務局の回答】

集積所の管理は、集積所を設置した地域の地区にお願いしている。集積所の掃除当番を決めるなど地元で話し合って解決してほしい。

【質問】

集積所近くの花壇に捨てられている物もあり、対応に苦慮している。

【意見】

犯人探しと言っては語弊があるが、地域の地区の人が捨てたのであれば、地区の掃除当番の人に聞いたり、ごみに張り紙をしたりする方法がある。

それでも難しければ、最悪の場合ごみ袋に記名しなければならなくなってしまうが、通常の場合は地元で対処できるのではないかと思う。

【意見】

不法投棄の対策としては、集積所のかごに蓋をして施錠し、収集日に開錠するという方法がある。集積所の管理に手間を取るようになるが、かごをオープンにしていると、不法投棄を防止するのは難しいと思う。

【質問】

美祢地域の収集日を見直す際に合わせて収集地域を見直すとのことであるが、

今までどれくらいの頻度で見直しを行っているのか。

【事務局の回答】

詳しくは不明であるが、数十年は見直していないと思われる。収集日の見直しは、将来的に人口の変動により収集地区の見直しが必要になった際に併せて行うことが現実的であると考えている。

【意見及び質問】

収集地区の見直しによる集約は収集効率の面から考えると必要ではあるが、集積所が遠くなるとごみ出しが大変になってしまうことから住民が納得する案を策定することが重要であると思う。他の地域の収集日の見直しはどう考えているのか。

【事務局の回答】

美東地域については、説明したとおり収集ごみの種類が多く、月曜日から金曜日までがほぼ収集日で埋まっている。全ての種類を毎月収集にすると土曜日や日曜日を収集日に充てる必要があるため、見直しは困難であると考えている。また、秋芳地域は逆に収集ごみの種類がシンプルで少ないため全て毎月収集となっており見直す必要はないと考えている。

【質問】

美東総合支所の建替に併せてリサイクルステーションの設置はできないのか。

【事務局の回答】

リサイクルステーション方式を美東地域に導入すると、既設の各地区の集積所をどうするかという問題がある。秋芳地域のように出張所単位でリサイクルステーションを設置したとして、例えばいつでも段ボールを出せる代わりに、集積所には出せないとした場合に、今までより出す場所が遠くなるという問題が発生することから、慎重に検討する必要があると考えている。

【質問】

地域の小学生が減っているため、資源物の集団回数減の機会も減り、出しにくくなった。広い倉庫がある家は貯められるからいいが、夏場はペットボトルが溜まって大変となり、固形燃料化できるごみとして捨てざるを得ない。リサイクルの推進に逆行しているのではないか。

【事務局の回答】

御意見のとおり、資源物の集団回数減は、児童数の減少と思われる理由により減少している。

美祢・秋芳地域のリサイクルステーションは設置から20年以上を経過していることからいずれ老朽化対策が必要となる。美東地域の集積所の老朽化対策と併せて美祢市全域でどうすべきか検討する必要があると考えている。

【意見】

リサイクルステーション方式と集積所方式はそれぞれ一長一短があることから、区内での十分な意見集約を経て要望を行うことが必要である。

【意見】

秋芳の北部地域での子供会収集では、児童はいなくても各区長に協力しても

らって収集を行っている。

【意見】

美祢地域のリサイクルステーションは、地元地区で清掃を行っているところは良いが、利用件数の多いところは不法投棄が多い。また、電球のLED化が進む中で、電気工事に伴い事業所からと思われる蛍光灯などが多く持ち込まれているのは問題と思う。不法投棄防止の観点からは、有人による管理、WEBカメラによる管理などまでやるかという話になる。水銀灯の処理費は高額であり、市費の負担も大きくなる。良い方法について、いろいろ検討すべきである。

【意見】

蛍光灯については、リサイクルステーションではなくリサイクルセンターへの直接持込のみとするやり方もあるのでないか。センターの受付で事業者からの持込であるかどうか確認することができる。

【意見】

水銀灯はまず家庭から出ることはない。出された物を見れば事業者から出されたものかどうかは分かる。

【意見】

スーパーなどの店頭回収に資源物を出していたが、車の運転が出来なくなった高齢者はリサイクルに困っている。リサイクルステーションで拠点化されると出す場所が遠くなってしまうので地区毎に資源物を収集してもらった方が良い。

【意見】

固形燃料化できるごみとして出すのも一つの考え方ではないか。高齢者が固形燃料化できるごみの袋にペットボトルを1本出すというのはやむを得ないことだと思う。

【質問】

そういう場合は、固形燃料化できるごみとして収集してもらえるのか。

【委員の回答】

硬質プラスチックは駄目だが、ペットボトルが少量入っている場合は収集している。

【質問】

家庭系可燃ごみとはどういった物が持ち込まれているのか。

【事務局の回答】

生ごみ等を集積所に出さずに直接持込されたり、大型の粗大ごみではタンスなど家具類などのごみが多い。

【意見】

年末年始の市の施設の休みの前に生ごみなどを直接持ち込まれる人も多い。

【質問】

搬入手数料の最低単位が 100 k g というのは幅が大きすぎるのかもしれない。20 k g 単位とか、50 k g 単位とかを考えていくのも良いかもしれない。

【事務局の回答】

100 k g を基準に考えたのは、廃棄物の処理の適正化の観点からであるので、あまりコロコロ変えるのは適切ではないと考えている。手数料なので議会の議決も必要となる。指定袋で市の施設に持ち込まれた場合の搬入手数料の取扱や今後の課題である事業系のごみの収集運搬手数料など、手数料全体の見直しの際に検討したい。

(2) 令和2年度 廃棄物処理の実績について

事務局より資料に基づき説明

【質問】

処理経費について、燃料費など内訳は出せないのか。市のホームページなどで公開していないのか。ガラスびんなどは収集して、それを市が売って収入になっていると思っているがどうなっているのか。

【事務局の回答】

経費の内訳を示すのは可能である。また、ガラスびんについては、容器包装リサイクル法の指定物としており、製造者が何割、市が何割という負担割合を決めて有償で指定引取先に引き取ってもらっている。

【質問】

市民はどのような仕組みでガラスびんが引き取られているかは分からない。びんのキャップを外して出すこととなっているが、いつも同じ人が外さないで出している。ごみの出し方が悪ければ、分別が大変となって市の負担がこう増えるとか、リサイクルの流れなどを市民に啓発する必要があるのではないか。

【意見】

容器包装リサイクルについては、環境省のホームページにも出ているので、そういうものを活用して市民に啓発する方法もある。

【意見】

美祢地域の透明びんと茶色びんは容器包装リサイクル指定物とせず、独自処理を行っているが、透明びんは1 k g 当たり 0.7 円、茶色びんは 0.3 円と安いので明石市の業者に売却し、収入としている。透明と茶色はびんとして再生がしやすいが、その他びんは黒色や緑色などいろいろな色があるため再生に手間がかかるのだと思う。

(3) 廃棄物処理施設見学会の開催について

事務局より見学会の趣旨、実施予定時期を説明

原案どおり承認、日程調整後各委員に案内することとする。

【会長より】

宇部興産伊佐セメント工場には行ったことがあるが、カルストクリーンセンターには行ったことがないので、どのようにごみが固形燃料化されるかを見ることは非常に良いことと思う。折角の機会なので、多くの委員の出席をお願いしたい。

(4) その他について

【意見】

美祢市の「固形燃料化できる」、「固形燃料化できない」は美祢市独特の分け方と思う。市外から親族が転入してきた時に、ごみの分別が違うのでとまどうことが多い。カルストクリーンセンターはごみを燃やさずに破砕する施設であり、施設を傷めないために金属類などの分別を特にお願いしているのだから、ごみの出し方ガイドにその辺りを記載したら良いのではないかと思う。

【意見】

市が違くと分別も全然異なるので、次回の出し方ガイドの改訂の際は、そういうところも盛り込めれば良いと思う。

5 部長あいさつ

志賀市民福祉部長があいさつ

6 閉会

古屋生活環境課長により閉会（11：05）